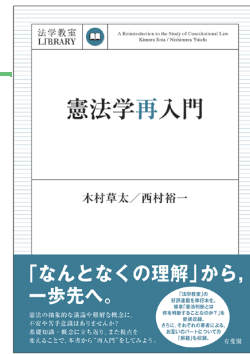




憲法学再入門

木村草太 = 西村裕一

2014年3月刊 / 218頁 / 本体1900円+税
A5判 / 並製



編集担当者から 本書は、本誌379号から390号まで12回にわたり連載された「憲法学再入門」をまとめたものです。木村先生ご担当の「統治機構編」と西村先生ご担当の「人権編」で、全く個性の異なる論稿が1つの連載の名の下に連なり非常に刺激的なものでしたので、読者の方の記憶にも残っているのではないのでしょうか。単行本化にあたり、先生方の「やはり文体と内容とは不可分一体であり、この文体でなければこの内容を書くことはできないという思い」（はしがき）から、最低限の修正を加えるにとどめ、連載時の論稿をほぼそのまま収録しました。編集担当としては、それぞれの個性を活かしながらも、書籍としてのまとまり・一体性を出すことに少し工夫をしてみました。

また単行本では、「補章」と、お互いのパートに対しての「解題」を付けていただきました。この「解題」を読み、再読すると、それぞれのパートのまた違った一面が見えてくると思います（鈴木）。

Index

I 憲法訴訟についての「補章」の追加と、それぞれがお互いに「解題」を付け合うことでより魅力的に。

統治機構編 ————— 木村草太

- 第1章 国民の意思と人格
—— 帰報：統治機構の、いや法学の基礎知識
- 第2章 政治の領域における国会と内閣
—— 主権者国民と権力分立とではどっちが偉いのか？
- 第3章 法の領域における国会と内閣
—— 法の支配のプロジェクト
- 第4章 法の領域における裁判所
—— 暗闇での裁判官の華麗な跳躍
- 第5章 独立性のある行政機関
—— 委員会、裁判所、自治体、そして専門職
- 第6章 憲法の妥当性と憲法保障
—— なぜ君は頭からコーヒーをかぶらないのか？
- 補章 憲法判断とは
何を判断することなのか？
—— 合衆国皇帝ノートン閣下ヨリ
処分違憲ナル勅命ヲ拜ス

【解題】 木村憲法学における創造と正統性
〔西村裕一〕

人権編 ————— 西村裕一

- 第1章 人権なき人権条項論
- 第2章 「審査基準論」を超えて
- 第3章 まなざしの憲法学
- 第4章 表現の自由論
—— その魔力からの解放について
- 第5章 社会的権力への懐疑
- 【解題】 自由と公共の距離
—— 西村裕一「人権と公共性」論・再考
〔木村草太〕